

## 第8回道南地域第三セクター鉄道開業準備協議会議事録

日時：平成27年3月22日（日）15:00～15:30

場所：ホテルネッツ函館

### 【北海道交通政策局長】

それでは定刻となりましたので、ただ今から、「第8回道南地域（五稜郭・木古内間）第三セクター鉄道開業準備協議会」を開催します。開会にあたりまして、荒川副知事からご挨拶申し上げます。

### 【北海道副知事】

本日は、新幹線の開業1年前イベントからこの協議会に至るまで、ご出席を賜りましたことを厚くお礼申し上げます。協議会も、ただ今、司会から話がありましたように第8回目となります。

そして、新幹線につきましても開業まであと1年となり、先日14日には北陸新幹線が開業しまして、我々も職員が現地に参加しましたが、盛大に式典などが催されておりました。1年後の開業に向けて、我々も一層力を入れていかなければならないと思っております。

このような中、並行在来線となります五稜郭・木古内間については、先ほど、いさりび鉄道の命名者に感謝を申し上げたところですが、運行を担う鉄道会社として、来年の新幹線との同時開業に向けて、現在、経営計画を踏まえた具体的な事業計画につきまして、関係機関と鋭意協議を進めているところでございます。

そのような中、本日の協議会におきましては、お手元の次第にもありますとおり、まず、安全運行体制の構築に向けた取組ということで、昨年4月と7月にJR北海道との間で締結しました基本合意に基づいて、JR北海道に実施していただく事前修繕等の内容などについてご報告し、協議をいただくほか、2つ目としては、今後のスケジュールについて、道南いさりび鉄道の開業に向けまして、現在進めております鉄道事業許可申請の取組や運賃の検討状況等をご説明させていただきます。

限られた時間ではございますが、忌憚のないご意見を頂ければ幸いです。よろしく申し上げます。

### 【北海道交通政策局長】

それでは越前交通企画監の進行で議事を進めて参ります。

### 【北海道交通企画監】

それでは、お手元の次第に沿って進行していきますので、よろしく申し上げます。

最初に議題の（1）安全運行体制の構築に向けた取組につきまして、事務局から説明します。

### 【北海道交通政策局長】

それでは、資料1をご覧いただきたいと思えます。

まず、1ページ目の「1 これまでの経過」についてであります。昨年の4月と7月に、協議会を代表しまして、道とJR北海道との間で基本合意を締結し、JR北海道に譲渡前に安全運行体制を確立していただくことをお約束いただいたところであります。

また、当協議会といたしましても、三セク鉄道会社における安全運行体制を構築するための基礎となります安全運行体制の確保に向けた方針を7月に決定し、8月の会社設立後におきましては、この方針に基づき、外部有識者等で構成する安全管理アドバイザー会議を設置したところであります。

また、11月には、この安全管理アドバイザー会議でのご助言などを参考にJR北海道に対しまして、譲渡施設の整備に関する要望書を提出したところであります。今年1月にはJR北海道からの回答がございました。いさりび鉄道から要望した経営分離区間の線路、土木構造物等の整備を実

施していただけるとの要望通りの回答があったところであります。経過については以上です。

続いて、2ページ目ですが、「2 JR北海道で実施予定の主な修繕、整備内容（概要）」となっております。

これは、先ほどご説明いたしました基本合意や安全管理アドバイザー一会議における助言に基づきまして、JR北海道に実施していただく予定の主な修繕、整備事項をまとめたものであります。

開業後、直ちに大規模な投資が生じないよう、また、少人数で効率よく安全を確保するために、いさりび鉄道への譲渡前に整備していただくものをお願いしたところであります。資料では、保線関係、土木関係、駅舎関係、旅客運行確保、その他設備の大きく5つに分けていますが、本日は主な修繕、整備内容をご紹介しますので、3ページ目をご覧ください。

3ページ目は保線、土木の関係の主なものでありますが、レール交換につきましては、譲渡後、直ちに交換が生じないよう前倒しで実施していただくことや、軌道パッドの交換を実施することによって、維持管理の期間を少しでも長くするほか、すぐに修繕や塗替時期が到来する可能性がある橋梁への必要な対応をしていただくこととなりました。

4ページ目をご覧くださいと思います。開業後、支障なく安定した旅客運行が確保できるよう、譲渡対象となる駅舎については、現在の状況を検討した上で必要となる屋根や外壁などを修繕していただくほか、道南いさりび鉄道の終着駅であり、車両車庫がある木古内駅におきましては、車両の入換業務の省力化を図るための現地操作盤を新たに設置していただきます。

主な修繕、整備内容は以上でありますけれども、安全運行体制の構築に向けた取組については、今後、JR北海道に実施していただきますが、その実施状況を我々としてもしっかり見極めながら、また、安全管理アドバイザー一会議においても、その実施状況を注視していただきながら必要な助言をいただき、譲渡前の整備を進めていきたいと考えております。

#### 【北海道交通企画監】

ただ今、ご説明した内容につきまして、ご質問、ご意見等があればご発言をお願いします。

#### 【木古内町長】

ご説明をいただきました4ページ目の上の写真の右側、木古内駅ホームの上屋（屋根、柱）とあります。これは、錆が非常に多くてポロポロ落ちてくるという現状なので、この修繕はお願いすることになるのですが、この写真の右側の白い建物は新幹線の駅舎になります。

また、この写真と同様にホームの左側には老朽化したホームが2つあります。この中で残るのは、いさりび鉄道のホームだけでございます。ここから左側の2つのホームは、特急列車並びに貨物列車が走行するところでございますので、ホームと一緒にJR北海道が解体すると伺っております。解体に伴って、壁等については、おそらく綺麗になると思うのですが、そうするとここに残されたところだけが、非常に古い状態のまま残ってしまいます。

現在、この写真よりも左側にある在来線の方は、町が新しくお色直しをしたので、外から見ると新幹線駅と在来線の駅は非常に綺麗になるのですが、この残されたホーム一本だけが非常に汚い、このバランスをきちんと取っていただいて、綺麗にさせていただくということを要望しておられると思うのですが、こちら確認の意味で伺いたいと思います。

#### 【北海道交通政策局長】

これまでも幹事会を通じて関係市町の要望を伺っておりますので、木古内町の要望についてもJR北海道に要望として伝えているところであります。我々としても、きちんと実施していただけるよう確認していきたいと思っております。

【木古内町長】

現地でご覧になると分かりますが、新幹線駅と在来線の駅が非常に綺麗になったものですから、ここだけが非常に目立っちゃうんですね。道南いさりび鉄道も綺麗な駅に生まれ変わるべきだと思いますので、ぜひ今後ともよろしく願います。

【北海道交通企画監】

その他、よろしいでしょうか。

それでは続きまして、議題の（２）今後のスケジュールについて事務局から説明いたします。

【北海道交通政策局長】

それでは、今後のスケジュールにつきまして、資料２に基づきご説明させていただきます。

時系列で申し上げますと、道南いさりび鉄道では、今月中に経営計画に基づく鉄道事業の許可申請を北海道運輸局に提出する予定であります。

この許可申請後、概ね５月か６月には許可を得られるものと思っておりますので、許可取得後、６月に予定している定時株主総会を経て、７月から新役員体制をスタートさせ、道及び沿線市町や民間企業からの増資をしていただくこととしています。また、８月には本社を函館に移転することとしておりまして、その後、具体の開業に向けた準備を加速していきたいと考えております。

なお、運賃関係につきましては、今年の秋頃を目途に、国に運賃及び料金の上限の認可申請を提出する予定となっておりますが、運賃関係の検討状況につきましては、後ほど別資料で担当課長からご説明させていただきます。

また、下段のその他に記載のある利用促進の取組についてであります。道南いさりび鉄道は、開業当初より大変厳しい経営環境が見込まれることから、経営の効率化とともに、利用促進の取組が大変重要と考えております。沿線地域の皆様を主体としてマイルール意識の醸成を図り、道南いさりび鉄道が、地域に愛され、出来るだけ多くの皆さんに利用していただける鉄道会社となるよう支援していきたいと考えておりますので、ご協力をよろしく願います。

引き続き、運賃制度等の検討状況について、ご説明させていただきます。

【北海道地域交通・並行在来線担当課長】

それでは、引き続き、運賃制度等の検討状況についてご説明させていただきます。資料３をご覧いただきたいと思っております。

道南いさりび鉄道の五稜郭・木古内間における運賃水準については、経営計画におきまして、現行のＪＲ運賃と比較して、概ね１．３倍程度としたところでございます。

ＪＲ函館駅への乗継運賃につきましては、ＪＲといさりび鉄道のそれぞれの初乗り運賃を支払うこととなりますので、最大２倍程度の運賃となるところでございますが、これを１．５倍程度に抑制することでＪＲ北海道と協議を進めております。この件につきましては、前回の協議会におきまして高谷市長からもご要望があったところでございます。

そこで、「１ ＪＲ函館駅までの乗継割引について」をご説明いたします。

ＪＲ北海道とは、前回の協議会以降、協議を重ねておりまして、いさりび鉄道の乗継割引と同程度の乗継割引を実施していただくということで話を進めておりますが、その中で、割引をしなかった場合に最大２倍程度となる運賃を１．５倍程度に抑制できる見込みをたてております。

また、「２ 乗継回数券の設定について」であります。いさりび鉄道内の営業区間である五稜郭・木古内間の回数券のほか、ＪＲ函館駅といさりび鉄道の区間の乗継についても、普通回数券と同様の特別企画乗車券を双方で乗継割引した額で設定する予定です。

次に、２ページ目をご覧ください。「３ ＪＲ駅での定期券の販売について」でございますけれど

も、道南いさりび鉄道では、無人化により駅員を置かないことから、下の図のとおり定期券の販売駅は、函館駅、五稜郭駅、そして、木古内駅にも在来線に駅員がないので、新幹線の木古内駅でJR北海道に委託して販売してもらうという協議をしました。

現行では、七重浜駅と上磯駅に駅員がいらっしゃるの、定期券を販売できるのですが、この両駅では定期券が販売できなくなるため、いさりび鉄道では出張販売や宅配による販売、あるいは定期を買う方への無賃の乗車券をお渡しするといったことなどを検討しているところでございます。

先ほど「今後のスケジュール」でご説明しましたが、国への上限運賃の認可申請は、今年の秋頃を予定しておりまして、年内にはその認可があって運賃の届出やダイヤの発表ができると考えております。引き続き、沿線市町の皆様と鋭意協議を進めていきますので、ご協力よろしく申し上げます。以上でございます。

#### 【北海道交通企画監】

ただ今、ご説明したスケジュール、運賃制度の検討状況等につきまして、ご質問、ご意見等があればご発言をお願いします。

#### 【木古内町長】

JR函館駅までの乗継割引ですが、協議の結果、道南いさりび鉄道とJR北海道の双方が割引を実施するというので、これは一つの方向性として間違いではないと思うのですが、JR北海道の島田社長は色々な席上で、あるいは様々なお立場で、常にこの三セクについては全面的な協力をすると力強くお話されている、これだけ力強くお話されるということは、この件についてさらに私どもの協議会の中で要請活動をすれば、ここについても、もっといさりび鉄道が負担するのではなく、JR北海道の負担で安い料金でご利用いただけるようにすることが必要ではないかと思っておりますが、そのような動きをこれからしていただけるものでしょうか。お考えをお尋ねしたいと思います。

#### 【北海道交通政策局長】

運賃につきましては、これまでもこの協議会場でご説明してきましたが、先ほど担当課長から説明があったように、初乗り運賃が両社でかかるということがございまして、三セク側で1.3倍の運賃設定するのとあわせて、函館駅に乗り入れた場合には、最大2倍程度の運賃になるということがございまして、この間、JR北海道とも随分と協議を重ねてきましたが、現在、JR北海道との間では、三セク側とJR北海道側が同程度の運賃割引をすることによって、何とか1.5倍程度に抑えたいということが我々事務局としての考えであります。これまでのJR北海道との協議の経過をみても、現段階ではゴールに近い数字かなとの印象を受けています。

#### 【木古内町長】

事務的な進め方には、全く間違いがないと思います。ただ、これまでの島田社長の発言の中から、もっともっと三セク鉄道に対する支援が期待できるのではないかと、そうであれば事務方の折衝はここで終わっていますので、私どもの方で社長に対する要請活動を行い、その中でJR北海道が、この分はしっかりサービスしますというお答えを頂くべきではないかと私は思うのですが、いかがでしょうか。

#### 【北海道交通企画監】

それは協議会としてJR北海道に対して要請するというのでしょうか。

【木古内町長】

協議会になるのか、三セク鉄道としてなのか、構成メンバーは重複していますので、連名ということもあるでしょうし。

至るところで島田社長が力強くおっしゃるものですから期待してしまうのですよ。期待をして悪いのかどうかは分かりませんが、あれだけ力強くおっしゃっていただくと、こういったところは、国の施策とは言うものの、JR北海道の都合もあるわけですし、寝台特急が無くなる時は相談もなく一方的に無くなっちゃうわけですよ。であれば、こういったところも面倒をみてくれても良いのではないのでしょうかと思うわけです。ですから、そういった活動をする必要性があるのではないかと考えております。

【北海道交通企画監】

他の皆さんのご意見はいかがでしょうか。

【北斗市長】

去年の夏の協議会の場で、乗継運賃は五稜郭に近ければ近いほど高くなるということで、うちの一番近い駅では2倍近くなるわけですから、これはちょっと市民に説明できる数字じゃないということでなんとか調整をお願いしました。当初はかなり厳しいとの話も聞いていましたが、今回、1.5倍程度に抑えられるということで、まずは皆様方の努力に感謝したいと思います。

ただし、1.5倍程度となると、1.5倍より上も下もある訳ですよ。私は、1.5倍を超える数字は説明出来ないと思うので、この表現を変えろとは言わないですけれども、何とか1.5倍以下になるように、これからもJR北海道と協議していただきたいと思います。

その中には、今、大森町長が言った我々の要望活動は別として、私は1.5倍以内にして欲しいと思います。仮にJRの扉が堅いのであれば、例えば、あと10円割り引くことで1.49倍になるのであれば、私はいさりび鉄道が負担しても良いのではないかと考えています。他の人達には大変申し訳ないのだけれども、やっぱり1.5倍を超えることは非常に重いことだと思っています。その思いを受け止めていただければと思います。

【北海道交通企画監】

副市長は何かご発言がございますか。

【函館市副市長】

お二人と同じ考えです。できるだけ運賃は安くしていただいて、それで利用者が増えればなお良いと考えております。少なくとも一番利益があるのはJR北海道なので、それなりの負担をしていただきたいと考えております。

【北海道交通政策局長】

現在は、10円単位にするための端数処理の問題もあり、必ずしも1.5倍を切らないケースもあるものですから、1.5倍程度との説明をしています。高谷市長からお話のありました最大でも1.5倍とのご意見、ご要望もありましたので、さらにそういった方向に向けて、JR北海道との調整を進めていきたいと思っています。

また、その前に先ほどお話のありました料金の圧縮に向けた努力の中で、大森町長から話のありました協議会や三セク鉄道会社としての要請につきましても検討していきたいと思っています。

**【北海道交通企画監】**

それでは、まずは高谷市長からもお話のあった1.5倍以下となるよう、JR北海道との調整をさらに進めていくということによろしいでしょうか。

(問題なしとの発言あり)

**【北海道副知事】**

最初の(1)の議題でもお話ししましたが、JR北海道には誠意を持って協議をしていただいていると考えておりますので、そういった状況も含めながら、また先ほどの高谷市長からの要望については、利用促進という形でやっていくことも大事だと思っています。

要請の件については、引き続きご検討させていただくということによろしいでしょうか。

(問題なしとの発言あり)

**【北海道交通企画監】**

それでは、当面はこのスケジュールなどに基づきまして、いさりび鉄道の開業準備を進めたいと思いますので、ご協力よろしくをお願いします。

本日予定の議事は以上となりますが、他に全体を通じて何かご意見等があれば、お願いしたいと思います。

(特になしの発言あり)

**【北海道交通企画監】**

それでは、以上をもって本日の協議会を終了します。お疲れ様でした。